



岸田めぐみ (ネット・社民の会)

ケアをしても自分らしく暮らせる
まちに
～ヤングケアラーから考える～

- 問** 多摩市ヤングケアラー実態調査からわかった、ヤングケアラーが担ってきたケアと支援について伺う。
- 答** 日本語への通訳や書類記入、家事、同居する高齢者や幼い兄弟姉妹の世話等が含まれていた。関係機関と連携し、個々の状況に応じて適切な支援を行う。
- 問** 行政サービスが入っていても、ヤングケアラーに該当する子がいたことがわかった。課題を伺う。
- 答** 行政サービスが入っていない時間もある。家族内でケアを行わなければならないと考え、SOSが出せない状況があった。
- 問** ヤングケアラーは子どもの人権に関わる問題である。子どもの権利擁護として相談・救済制度について伺う。
- 答** ヤングケアラーの相談窓口は子ども家庭支援センターであるが、制度については検討している状況である。
- 問** 若年者のケアラーも包含した「ケアラー支援条例」が本市にも必要だと考えるが、いかがか。
- 答** 様々なケアやサービスなどの状況を把握検討していく中で必要な支援体制を整備していく。



池田桂 (日本共産党)

1.必要な介護サービスを受けるために
2.子どもが「健幸」に育つための
オーガニック給食を！

- 問** 介護認定の結果が適切か、との市民の声があるが、介護認定の判定結果に不服があった場合、判定の根拠を示すうえで情報開示が必要である。市の対応を伺う。
- 答** 問い合わせがあった場合には、審査結果に至った理由等を丁寧に説明するなどの対応をしている。
- 問** 介護サービスが必要な時に、サービスを受けられない状況の回避のために、市民が身近に相談できる窓口の増加が必要だが、市として今後の対策について伺う。
- 答** 高齢者見守り相談窓口が2か所あるが、地域包括支援センターの機能強化等も検討する。
- 問** 学校給食で無農薬、低農薬の食材の提供は可能か、東北震災の事故後の福島原子力発電所より「処理水」が放出され、魚介類の安全性について心配の声も聞かれているが、放射線の検査等は可能なのか伺う。
- 答** 市内農家からは減農薬、減化学肥料の農産物を提供してもらっている。魚介類に関しては、水産庁が検査していることもあり、その結果を踏まえて対応していく。



石山ひろあき (自民党)

聖蹟桜ヶ丘駅周辺整備の経過と
今後について

- 問** 聖蹟桜ヶ丘西側の活性化を考える協議会が立ち上がったが、市は今後どのように関わるのか伺う。
- 答** これまで以上に積極的に関わり、協議会に参加し地域の声を聞き、街づくりへの支援を行っていく。
- 問** 聖蹟西側地域について住宅地を含む都市基盤の改善を考えると、市として財政面でも取組みが必要ではないか。
- 答** 良好な都市基盤を確保するためにも、適切なタイミングで用地の取得等に動いていかななくてはと考えている。
- 問** 聖蹟桜ヶ丘周辺の活性化を目的としたエリアマネジメント団体が立ち上がり、二子玉川地区の団体のように都市再生団体法人として、市が全面バックアップしていく用意があるのか伺う。
- 答** 市のパートナーになる団体と考え支援していく。
- 問** 今年の夏、駅前デパート飲食店で地場野菜を活用したイベントが開催され多摩市産の野菜を盛り上げていたが、市として、このような企画を応援できないか伺う。
- 答** 市として後援や広告媒体での支援を考えていく。



上杉ただし (日本共産党)

1.公職選挙法の問題点と主権者教育の
さらなる充実に向けて
2.カーボンゼロ 多摩市がやるべきこと

- 問** UR永山団地内に、投票所増設を求める署名を提出したが、これに対してどのような議論がされたのか伺う。
- 答** 投票区は人口や面積のバランスを鑑みて区割りを定めているため、現段階では現状維持が望ましい。
- 問** 現在の郵便投票制度では、要介護5のみこの制度を利用することができるが、その他の身体的な制約を持つ有権者にまで恩恵が及んでいないことをどう考えるか。
- 答** 選挙管理委員会としても、同様の考えであり郵便投票の要件引き下げについて要望を出している。
- 問** 多摩市内の太陽光発電など再生可能エネルギーを用いた発電施設及び多摩市内で再生可能エネルギーを作り出せるポテンシャルについて伺う。
- 答** 2021年度末時点で6.8メガワットの太陽光発電設備が設置されている。また、多摩市内に実際に設置可能な再生可能エネルギーを作り出せるポテンシャルについては、約51メガワット、市内電力量の約12%分の設置を目標としている。

